

商工会議所 L O B O（早期景気観測）調査結果（4月分）

業況DIは、回復基調続くも、厳しさ残る 先行きは感染再拡大に伴い、警戒感強まる

中国・米国などの海外経済の回復に伴い、生産増が続く半導体・電子部品関連や自動車関連の製造業が牽引したほか、巣ごもり需要で売上が堅調な小売業が全体を押し上げた。一方、まん延防止等重点措置の実施に伴う営業時間短縮や観光需要低迷により、外食・観光関連は厳しい状況が続く。オンライン活用や新事業展開などが進む中、業種・業態によって対応の難しさが指摘されるほか、原材料費上昇によるコスト負担増加を不安視する声も多く、中小企業の景況感は回復基調が続くものの、厳しさが残る。

産業	概況
【建設業】	<ul style="list-style-type: none"> ・「リフォームや店舗のリニューアル工事の案件が増えてきているが、米国の新築住宅の需要急増やコンテナ不足を背景に輸入木材の仕入価格が上昇しており、今後の収益圧迫を懸念している」（一般工事業） ・「若手従業員確保のため、昇給や労働時間短縮など待遇改善を検討しているが、民間工事減少など先行き不透明な経営環境で進められずにいる」（管工事業）
【製造業】	<ul style="list-style-type: none"> ・「ネット販売や業績が好調な取引先からの受注により売上を確保しているが、砂糖の仕入価格が上昇し、採算は悪化。今後、新商品や現行商品のリニューアルに伴う価格転嫁を進めていきたい」（調味料製造業） ・「鋼材価格の値上げでコスト増となっているが、物流がストップしていた前年同月比では売上・採算ともに改善」（自動車部品製造業）
【卸売業】	<ul style="list-style-type: none"> ・「前年同月は新茶の販売前の緊急事態宣言で売上が落ち込んだが、今年は巣ごもりによる家庭内の需要増加やネット販売の受注増加により、売上は改善。今年の新茶は好天により品質がよいため、予約特典や贈答用の販促に力を入れ、さらなる売上改善を図りたい」（茶類卸売業） ・「吸音材や絶縁材料など、自動車や電子部品製造業向けの製品の引き合いが伸びており、売上は改善」（繊維品卸売業）
【小売業】	<ul style="list-style-type: none"> ・「緊急事態宣言による買いだめなどの影響で売上が大幅に増加した前年同月比では売上・採算ともに悪化」（スーパー） ・「家電製品やインテリア、園芸用品などの在宅時間を充実させる製品の売上が堅調に推移しており、業況は改善。来月にかけて花や野菜の苗の品揃えを強化し、春のガーデニング需要の取り込みを図る」（ホームセンター）
【サービス業】	<ul style="list-style-type: none"> ・「主要顧客である自動車関連の生産回復に伴い、輸送量が持ち直している」（運送業） ・「緊急事態宣言の影響により、90%近く売上が落ち込んだ前年同月比では売上は改善。ただし、例年であれば大きな売上を見込める歓送迎会などの宴会予約がほぼゼロとなっており、依然厳しい状況が続いている」（宿泊業）

〔向こう3カ月の見通し〕

先行き見通しDIは、▲29.0（今月比▲3.7ポイント）

ワクチンによる感染抑制効果や、海外経済回復に伴う自動車や電子部品関連の生産増に期待する声が聞かれる。一方、変異株の感染再拡大による活動制約が続く中、客足減少や製品・サービスの受注・売上減少を懸念する企業は多い。さらに原材料費や燃料費の上昇による採算悪化への不安もあり、先行きに対して厳しい見方が広がっている。